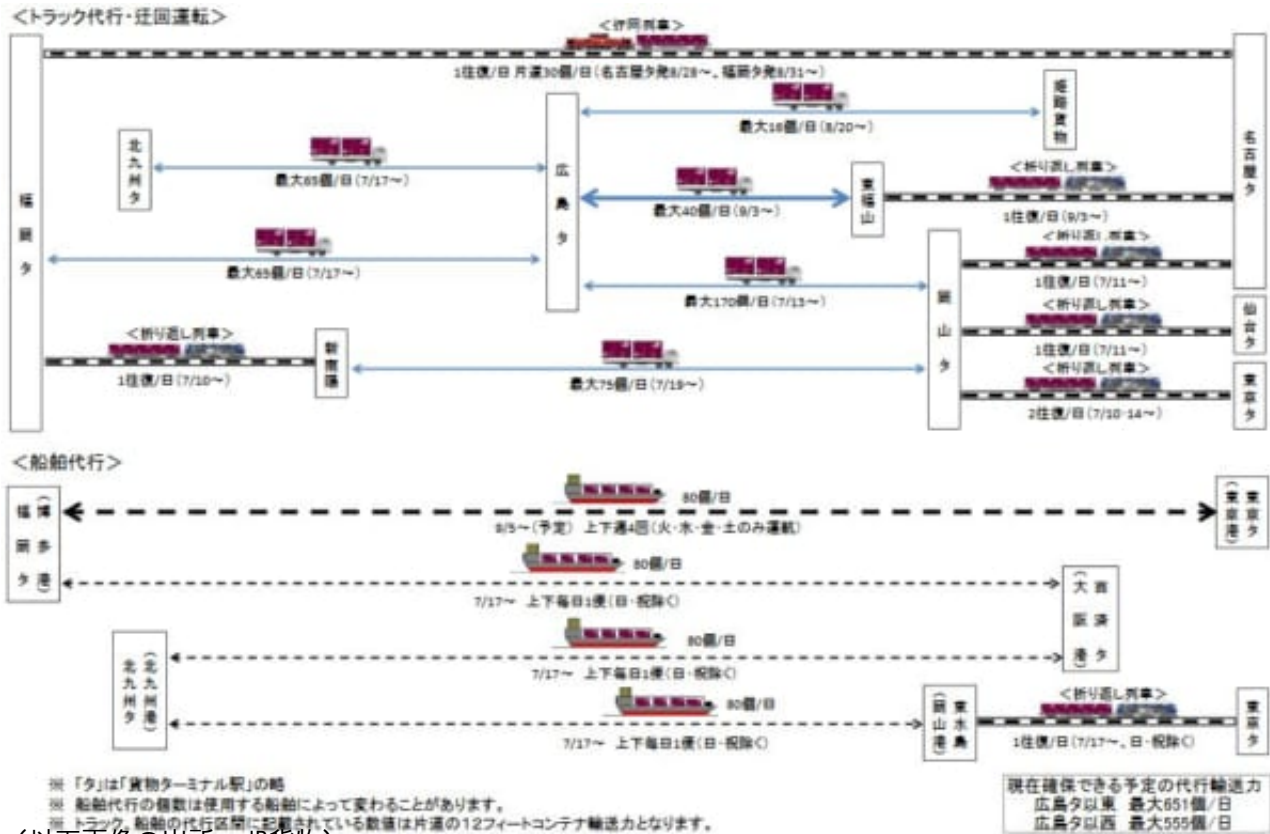


# JR貨物がさらに2区間で代行輸送、計10区間に

Edited By LogisticsToday On 2018/09/03

日本貨物鉄道（JR貨物）は3日、7月の西日本豪雨に伴う不通区間で実施している代行輸送区間を増強し、新たに2つの区間でトラックと船舶による運転を行うと発表した。



(以下画像の出所：JR貨物)

東福山駅（広島県）・広島貨物ターミナル駅（広島市）間で12フィートコンテナ最大40個（片道）のトラック輸送を3日から開始。

また、東京貨物ターミナル駅（東京都）と福岡貨物ターミナル駅（福岡市）を結ぶ区間では、5日から東京港・博多港間で船舶輸送を行い、12フィートコンテナ80個分の輸送力を増強する。東京港発、博多港発ともに週4回運航（火、水、金、土曜日）する。

これにより、代行輸送区間はトラック6区間、船舶4区間の合わせて10区間となる。

現在の運転中止区間は東福山駅・新南陽駅（山口県）間の221.5キロのみとなっており、このうち広島貨物ターミナル駅・新南陽駅間の115.9キロが9日にも再開できる見通しで、残る東福山駅・広島貨物ターミナル駅間の105.6キロは10月中の再開予定。

「平成30年7月豪雨」に伴う貨物列車運転状況等について(9月3日時点)



Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>  
 URL to article : <http://www.logi-today.com/324888>  
 Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.